

えんちょう通信

No.47

令和3年7月1日

福島市立清水幼稚園

発行者 佐藤 一男

「お母さんのギョウザ」って・・・



6月30日(水)、6月生まれの子の誕生会が行われました。6月生まれの子は、年長組の男の子一人です。みんなで「たん たん たん たん 誕生日・・・」と歌をうたって、お祝いをしました。

そのあと進行係の先生が、誕生日を迎えたその子に事前に質問しておいたことを紹介してくれました。

その中に「好きな食べ物は何ですか。」という質問がありました。その質問に対して、その男の子は「お母さんのギョウザです。」と答えました。

この答えを聞いていた子どもたちは「『お母さんのギョウザ』ってどんなギョウザなんだろう。大きいのかな・・・、お肉がいっぱい入っているのかな・・・、どんな味なんだろう・・・。」などともう頭の中はギョウザのことでいっぱいです。それはもう大人も同じです。

当たり前のことですが、「ギョウザ」という言葉を知っている子は、今、目の前に本物のギョウザがなくてもギョウザを想像することができます。「お母さん」という言葉で、もうすぐ迎えに来るお母さんを思うことができます。目の前にない遠くにあるもの、不在のものを考えることができるのが、「言葉の力」です。子どもたちには、たくさん言葉を覚えて、いろんなことを自分で考えるようになってほしいな、そんなことを思いました。

毎月行われている誕生会ですが、毎回子どもたちの素敵な「言葉」に出会うことができ、本当に楽しくなります。

第2回こぐまの会

6月25日(金)、今年度2回目の「こぐまの会」が行われました。今回は「幼稚園の子どもたちとあそぼう」です。年長組の子どもたちが、楽しい遊びを準備してくれました。12組の子どもとお母さんが参加しました。「ひげじいさん」や「むすんでひらいて」の手遊び歌をうたい、「エビカニクス」をみんなで踊りました。そして、年長組の子どもたちが作ったチューリップの首飾りをかけてもらい、最後は年長組の子どもたちがつくったアーチをくぐって帰りました。こぐまの会の子どもたちもお母さんたちもとても喜んでいました。



年長組の子どもたちも、いっしょうけんめい準備をして、こぐまの会の小さな子どもたちを優しく世話しました。男の子が、「なかなか僕の言うこと、聞いてくれないんだよな。」と言いながらも、いっしょうけんめい面倒をみていました。年長組の子どもたちは「ぼくにも、あんな小さな時があったのかな・・・。」と思ったかもしれません。年長組の子どもたちにとっても良い経験になったこぐまの会でした。

次回は7月13日(火)、「絵の具遊び」の予定です。知り合いの方に、ぜひ参加して下さるよう声をかけてください。